

平成25年第1回美祢市議会臨時会会議録

平成25年1月17日(木曜日)

1.出席議員

1番	猶野智和	2番	秋枝秀稔
3番	坪井康男	4番	俵 薫
5番	馬屋原真一	6番	岡山 隆
7番	高木法生	8番	萬代泰生
9番	三好睦子	10番	山中佳子
11番	岩本明央	12番	下井克己
13番	河本芳久	14番	西岡 晃
15番	荒山光広	16番	徳並伍朗
17番	竹岡昌治	18番	村上健二
19番	秋山哲朗		

2.欠席議員 なし

3.出席した事務局職員

議会事務局長	石田淳司	議会事務局補佐	岩崎敏行
議会事務局主査	岡崎基代		

4.説明のため出席した者の職氏名

市長	村田弘司	副市長	林 繁美
総務部長	波佐間 敏	総合政策部長	田辺 剛
市民福祉部長	福田和司	建設経済部長	伊藤康文
総合観光部長	藤澤和昭	会計管理者	古屋勝美
上下水道事業局長	久保 毅	総務部次長	倉重郁二
総務部次長	奥田源良	総合政策部長	篠田洋司
総合政策部長	末岡竜夫	市民福祉部長	白井栄次
地域情報課長	前野兼治	高齢福祉課長	永富康文
建設経済部長	高橋睦夫	教育長	三好輝廣
建設課長	坂田文和	代表監査委員	藤井勝巳
病院管理者	堀 洋数	美東総合会長	山田悦子
消防長		支所委員	
秋芳総合支所		事務局	

病院事業局
管理部長
農業委員会事務局長

金子 彰
末藤 勝巳

監査委員
事務局 局長

西山 宏史

5. 付議事件

日程第 1 会議録署名議員の指名について

日程第 2 会期の決定について

日程第 3 議案第 1号 平成24年度美祢市一般会計補正予算(第6号)

日程第 4 議案第 2号 平成24年度美祢市介護保険事業特別会計補正予算
(第3号)

6. 会議の次第は次のとおりである。

午後1時00分開会

議長（秋山哲朗君） 皆さん、こんにちは。

これより、平成25年第1回美祢市議会臨時会を開会いたします。

〔議長 秋山哲朗君 登壇〕

議長（秋山哲朗君） 第1回美祢市議会臨時会の開会に当たりまして、一言御挨拶を申し上げます。

輝かしい平成25年の新春を迎え、ここに議員の皆様、また村田市長を始め、執行部の皆様の健やかなお姿に接し、新年の御挨拶を申し上げますことを心から光栄に存する次第であります。

さて、美祢市は今年3月には、合併後、丸5年の節目の年を迎えようとしております。これまで、美祢市有線テレビでの放送を市内全域で提供することや、市内での統一的なサインシステムを構築するなど、旧一市二町の一体感の醸成に取り組んでまいりました。

また、第一次美祢市総合計画に基づく五つの基本目標を推進することで、「市民が夢・希望・誇りを持って暮らす、観光拠点都市～観光立市～」の創造を目指した行財政運営が、極めて順調に推移しておりますことは、まことに喜ばしい限りであります。

また、美祢市議会におきましては、予算委員会を常任委員会化することで、議案の分割付託の解消や、美祢市議会基本条例に基づき、市内各地域での議会報告会を開催するなど、議会の改革に取り組んでまいりました。

今後は、この議会報告会などで、市民の皆様からお伺いした御意見や御要望を取りまとめ、さらにこれらを議員による政策討論会で議論を深め、市政に反映したいと考えております。

なお、国においては、昨年政権交代があり、新政権においては、デフレ経済から脱却した強い経済を取り戻すことが喫緊の課題としております。また、社会保障と税の一体改革が議論される中、日本経済の再生と持続可能な財政措置を取ることに、美祢市のような高齢化率が進行した中山間地域経済が活性化するよう、期待をいたしております。

私自信、去年の改選以降も議長の要職につかさせていただき、改めて身の引き締まる思いであります。これからも、美祢市が抱えております諸課題を解決し、市民

の皆様が安全で安心して暮らしていただけるよう、さらなる努力と研さんを積み重ねてまいり所存でありますので、議員の皆様方並びに執行部の皆様の温かい御理解と御協力を賜りますよう、節にお願い申し上げまして年頭の御挨拶といたします。

大変ありがとうございました。

〔議長 秋山哲朗君 議長席に着く〕

議長（秋山哲朗君） この際、市長より年頭の御挨拶がございます。村田市長、どうぞお願いをいたします。

〔市長 村田弘司君 登壇〕

市長（村田弘司君） 平成25年の年頭にあたりまして、議長並びに議員の皆様方に謹んで新年のお喜びを申し上げたいというふうに思います。また、平素から市政各般の推進に当たりまして、深い御理解と御協力を賜っておりますこと、厚く御礼を申し上げます。

また、このMYTをご覧の市民の皆様方におかれましては、健やかに新年をお迎えになったことというふうに思っております。重ねてお喜びを申し上げます。

さて、私は昨年春の市長選挙におきまして、市のさらなる発展を願う多くの皆様方の力強い御支援を賜りまして、引き続き2期目の市長として市政を担わせていただくことになりました。市長を2期目として、初めての新年を迎えたというところでございます。

この新しい年を迎えまして、私に課せられました責務の大きさ、重大さをほんとうに痛感をいたしております。市民の皆様方の負託にお応え申し上げ、魅力ある美祿市をつくり上げる、実現することに受けまして、全身全霊を傾けていこうというふうに覚悟を新たにいたしましたところでございます。

昨年、政権が変わりましたが、しかしながら、まだまだ現下の日本におきましては、景気の低迷、それから人口減少社会の到来 もう、到来と言うよりも日本全国の人口が減ってく中において、我々中山間のような市はその先を走っております。このような時代、また、これに伴います少子高齢化、ほんとうに大きな意味で、世界の中の日本は大きな転換点を迎えておるといふふうに認識をいたしております。我々地方自治体におきまして、従前のやり方をそのまま踏襲していくというふうなやり方では、生き抜いてまいりません。したがって、今後新しい年を迎えま

したことをまた新たなきっかけといたしまして、あらゆる新しい政策、施策を打って、市民の方に希望と誇り、未来を与え申し上げられるような地域社会をつくってまいりたいというふうに考えております。

そのためには、市財政の健全化や、御承知のように非常に国においても同様ですがけれども、市の公共施設も高齢化が進んでおります。市民の方の安全・安心をお守りするということはもちろんのことですけれども、この市財政の健全、堅調な運営をもたらすためにも、将来を見据えた改革を進めていくということは非常に大変なことだろうというふうに思っております。

このことは議会の議員の皆様方を始め、また、市民の方々の御協力、御理解なしには進められないというふうに思っております。まずは、自分たち、おのずが身の回りのことを考えまして、そしてその上で、市全般を変えていく、また新たに作り上げてるという覚悟が必要であろうというふうに思っております。

私は、この美祢市の、地方自治体の長として、トップとして、この思いを強く胸に秘めて、今後この1年間、務めさせていただきたいというふうに思っております。

先ほど、議長の御挨拶にもございましたけれども、この美祢市は新市になりまして市政5周年を迎えるという、大きなことは節目を迎えます。この節目を、市民総ぐるみでお祝いをいたしまして、これをきっかけに大きく スプリング美祢という言葉はいつも申し上げておりますけれども ばねとして、未来に希望が持てる社会をつくっていくことを市民の方々とともに祝っていきたい、また、いろんな行事に取り組んでいきたいというふうに考えております。

これをもって、市民力、地域力を育みまして、さらには5年ではない、この後のまた5年、ですから10年後、また20年後の美祢市につなげていきたいというふうに確信をしておるところでございます。

私たちの美祢市は、豊かな自然、伝統歴史など未来へ発展する魅力がまだまだいっぱいございます。さらなる美祢市の発展のために、山積する課題を一つ一つずつ解決しながら、平成25年が大いなる飛躍の年になりますよう、これまでの歩みをとめることなく着実に前進し、市民の方が夢や希望、誇りをもってお暮らしできる交流拠点都市、美祢市の創造に向け、私みずからが、先ほど申し上げましたように先頭に立って、職員全員一丸となって全力で取り組んでまいり所存でございます。

結びになりますけれども、本年も議長を始め、議員の方々の絶大なる御支援、御

協力をお願い申し上げるとともに、また、皆様方が御健勝で、そして美祢市議会がさらなる発展をなされますように、また、市民の方々がこの1年御健勝でありますように、御祈念を申し上げまして、私の年頭の御挨拶といたします。

本年もよろしくお願い申し上げます。

議長（秋山哲朗君） この際、事務局より諸般の報告をいたさせます。事務局長。議会事務局長（石田淳司君） 御報告いたします。

本臨時会に、本日までに送付してございますものは、執行部からは議案第1号及び議案第2号の2件でございます。

本日、机上に配付してございますものは、会議予定表、議事日程表（第1号）、議案付託表、以上3件でございます。

御報告を終わります。

議長（秋山哲朗君） 本日の議事日程はお手元に配付いたしております日程表のとおりでありますので、御協力をお願いいたします。

日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第80条の規定により、議長において西岡晃議員、荒山光広議員を指名いたします。

日程第2、会期の決定についてを議題といたします。

お諮りいたします。今期臨時会の会期は、本日1日間といたしたいと思っております。これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長（秋山哲朗君） 御異議なしと認めます。よって、会期は1日間と決定いたしました。

なお、会期中の会議予定につきましては、お手元に配付いたしております予定表のとおりでありますので、御了承をお願いいたします。

日程第3、議案第1号及び日程第4、議案第2号を会議規則第35条の規定により、一括議題といたします。

市長から提案理由の説明を求めます。はい、村田市長。

〔市長 村田弘司君 登壇〕

市長（村田弘司君） 本日、平成25年第1回美祢市議会臨時会に提出をいたしました議案2件について、御説明を申し上げます。

議案第1号は、平成24年度美祢市一般会計補正予算（第6号）についてであります。

このたびの補正は、災害復旧事業費や電算システムの変更に伴う介護保険事業繰出金など、緊急に対応しなければならない経費について補正するものであります。

まず、歳出ですが、総務費におきまして、備品購入費を130万2,000円計上しております。これは、先の12月議会で指定管理者の指定の御議決をいただいた、於福地域交流ステーション及び厚保地域交流ステーションに関わる施設備品を購入するものであります。

民生費では、介護保険事業特別会計繰出金を320万8,000円計上しております。これは、介護保険事業特別会計で使用する電算システムの改修経費を、一般会計が負担するものであります。

災害復旧費では、土木施設災害復旧費を1,930万円計上しております。昨年11月30日の夕方から12月1日の早朝にかけて、市道麦川桃ノ木線の法面が、大嶺町奥分桃ノ木上の地域内において崩落したことから、復旧事業費を計上するものであります。現在、崩落箇所を片側交互通行としておりますが、この市道はバス路線でありますことから、早急に復旧を行いたいと考えております。

一方、歳入におきましては、一般財源として普通交付税を2,381万円充当することとしております。

以上により、規定の歳入歳出予算の総額に、今回の歳入歳出補正額2,381万円追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ191億3,926万2,000円とするものであります。

議案第2号は、平成24年度美祢市介護保険事業特別会計補正予算（第3号）についてであります。

補正予算の内容は、歳出の総務費におきまして、電算システム改修委託料を320万8,000円計上しております。これは、厚生労働省に提出する要介護認定情報などの内容が、平成25年4月1日から変更されることから、本市の介護保険電算システムを厚生労働省が求める仕様に変更するものであります。

歳入におきましては、一般会計からの繰入金金を320万8,000円充当することとしております。

以上により、規定の歳入歳出予算の総額に、今回の歳入歳出補正額320万8,

000円追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ31億3,192万9,000円とするものであります。

以上、提出をいたしました議案2件について御説明を申し上げましたが、よろしく御審議の上、御議決賜りますようお願いを申し上げます。

議長（秋山哲朗君） これにて提案理由の説明を終わります。

これより議案の質疑に入ります。

日程第3、議案第1号平成24年度美祢市一般会計補正予算（第6号）の質疑を行います。質疑はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（秋山哲朗君） 質疑なしと認め、質疑を終わります。

只今議題となっております議案第1号は、所管の委員会へ付託いたします。

日程第4、議案第2号平成24年度美祢市介護保険事業特別会計補正予算（第3号）の質疑を行います。質疑はございませんか。はい、三好議員。

9番（三好睦子君） 平成25年の4月1日から介護保険が変わることなんです、この変更のための電算システムの変更と思いますが、どのように変更されるのでしょうか。お尋ねします。

議長（秋山哲朗君） 白井高齢福祉課長。

市民福祉部高齢福祉課長（白井栄次君） 只今の三好議員の御質問にお答えいたしたいと思います。

このたびの改正によって、どのように変わるのかという問いということで理解をいたしておりますけれども、現在、国におきましては、要介護認定の適正化事業並びに介護給付の適正化事業をそれぞれ実施をしてございまして、被保険者の心身の状態に関する情報や、介護サービスに関する情報をより詳細に得ることによって、被保険者の状況に応じ、提供されるサービスの種類及び量の平準化に取り組んでおるところでございます。

今回のシステムの導入につきましては、そういったことに資するものでございますけれども、その副産物として、要介護認定情報と介護給付費請求書の情報との突合、あるいは他の市町村の集計等の閲覧も可能ということになりますことから、本市におきましても平準化に向けた取り組みが、以前よりは容易になってくるというふうに捉えておるところでございます。

以上でございます。

議長（秋山哲朗君） そのほか、質疑はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（秋山哲朗君） 質疑なしと認め、質疑を終わります。

只今議題となっております議案第2号は、所管の委員会へ付託いたします。

この際、暫時休憩いたします。この間に予算委員会及び教育民生建設観光委員会の開催をお願いいたします。

午後1時20分休憩

.....

午後2時47分再開

議長（秋山哲朗君） 休憩前に引き続き、会議を開きます。

日程第3、議案第1号及び日程第4、議案第2号を会議規則第35条の規定により、一括議題といたします。

本件に関し、常任委員長の報告を求めます。予算委員長。

〔予算委員長 高木法生君 登壇〕

予算委員長（高木法生君） 只今より、予算委員会の委員長報告を申し上げます。

本日、本委員会に付託されました議案第1号平成24年度美祢市一般会計補正予算（第6号）につきまして、委員全員出席のもとで審査をいたしましたので、その審査の経過と結果につきまして御報告申し上げます。

執行部より、歳出ではスプリング美祢推進費におきまして、先の12月議会において指定管理者の議決をいただきました、美祢市地域交流ステーションの於福及び厚保に係るテーブル、椅子、ホワイトボードなどの備品購入に要する費用として130万2,000円を計上しております。

次に、老人福祉費におきまして、厚生労働省では要介護認定情報と介護給付請求等の情報を総合的に管理する介護保険総合データベースの構築を進めており、平成25年4月からの運用に向けて、新たな認定ソフトの無償配布を行っております。

これに対応するために、平成24年度中のシステム改修が必要であり、これに要する経費と同額を介護保険事業特別会計への繰出金として320万8,000円を計上しております。

次に、単独災害復旧費におきまして、昨年11月30日から12月1日にかけて、

市道麦川桃ノ木線で発生した山の斜面崩落の災害復旧費として工事費1,600万円など、総額1,930万円を計上しております。

歳入では、これらに伴う一般財源として普通交付税を2,381万円増額しておりますとの説明がありました。

次に、主な質疑について御説明いたします。

委員より、地域交流ステーションの備品購入は継続して予算を組むのか。また、交流ステーション事業の今後のあるべき姿について、どういう形を目指しているのかとの問いに対し、執行部より、備品の購入については、毎年あるものではなく今回のみと考えています。交流ステーションのあるべき姿については、それぞれの施設について条例制定をしており、設置目的にもあるように、地域コミュニティ活動を促進するとともに、地域とJR美祢線利用者との交流を促進することにより、JR美祢線の利用拡大を図り、もって地域振興に資するために地域交流ステーションを運営していきたいと考えています。細かな活動内容については、指定管理を受けられた団体のそれぞれの活動に伴って、市も全面的にバックアップし、支援していきたいと考えていますとの答弁がありました。

さらに市長より、地域交流ステーションは、JRの利用促進を目指していますが、それとともに美祢線の駅があるということを活用して、地域で団結して地域の振興策を導き出してほしいという試みです。駅がないところも、その地域が持っているいろんな資源、資材を生かして地域を振興させていただくことの、ある意味での社会実験だろうと思っています。それを成功に導くように、市として努力を重ねていくというのはもちろんですが、今後、活動を活発化させる上において、さらなる備品購入費等が必要であれば、協議をして対応していきたいと考えていますとの答弁がありました。

次に、委員より、災害復旧工事について、工事の工法はどのようなものかとの問いに対し、執行部より、崩落した部分以外にも岩盤に亀裂が入っているため、法面を全面的に切り直して、その後、モルタル吹きつけをすることによる復旧を考えていますとの答弁がありました。

本案に対する意見はなく、採決の結果、全員異議なく、全会一致にて原案のとおり可決されました。

以上をもちまして、予算委員長報告を終わります。

〔予算委員長 高木法生君 発言席に着く〕

議長（秋山哲朗君） 予算委員長報告に対する質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（秋山哲朗君） 質疑なしと認め、予算委員長の報告を終わります。

続いて、教育民生建設観光委員長の報告を求めます。教育民生建設観光委員長。

〔教育民生建設観光委員長 岩本明央君 登壇〕

教育民生建設観光委員長（岩本明央君） 只今より、教育民生建設観光委員会の委員長報告を申し上げます。

本日、本委員会に付託されました議案第2号平成24年度美祢市介護保険事業特別会計補正予算（第3号）につきまして、委員全員出席のもとで審査をいたしましたので、その審査の経過と結果について御報告申し上げます。

執行部より、今回の補正は、新たな認定ソフト導入のための電算システムを改修するものです。介護保険総合データベースの無償配布に伴い、平成25年4月からの運用開始に対応できるようシステム改修を行うため、委託料として320万8,000円追加補正するものです。

歳入につきましては、一般会計からの事務費繰入金ですとの説明がありました。

次に、質疑について御説明いたします。

委員より、改修に伴う作業日程、人役等について。また、改修委託料は他市と比較して適正かどうかとの問いに対して、執行部より、改修に対応するシステムはNEC社のものです。作業日程につきましては、1月から約1ヶ月かけた作業日程が見込まれています。人役につきましては、提出された見積書では、延べ20人程度の人役が計上されています。他市との比較につきましては、各市において契約する業者、仕様、年式等が異なりますので、比較することは難しいと考えていますが、金額的には適切だと考えていますとの答弁がありました。

本案に対する意見はなく、採決の結果、全員異議なく、全会一致にて原案のとおり可決されました。

以上を持ちまして、教育民生建設観光委員会委員長報告を終わります。

〔教育民生建設観光委員長 岩本明央君 発言席に着く〕

議長（秋山哲朗君） 教育民生建設観光委員長報告に対する質疑はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（秋山哲朗君） 質疑なしと認め、教育民生建設観光委員長の報告を終わります。

以上をもちまして、常任委員長の報告を終わります。

これより、議案の討論、採決に入ります。

日程第3、議案第1号平成24年美祢市一般会計補正予算（第6号）の討論を行います。

本案に対する御意見はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（秋山哲朗君） 御意見なしと認め、討論を終わります。

これより議案第1号を採決いたします。本案に対する委員長報告は原案可決であります。委員長報告のとおり決することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長（秋山哲朗君） 御異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり可決されました。

日程第4、議案第2号平成24年美祢市介護保険事業特別会計補正予算（第3号）の討論を行います。

本案に対する御意見はございませんか。三好議員。

9番（三好睦子君） 反対ではありませんが、個人個人の介護の給付の状況とか、その実態とかをこのシステムでつかまれるということですが、利用者の方の実態の把握漏れがないようお願いをいたします。

それと、適正化という名のもとで、介護支援のサービスが受けられない人が切り捨てにならないようお願いをいたしまして意見とします。

議長（秋山哲朗君） そのほか御意見はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（秋山哲朗君） 御意見なしと認め、討論を終わります。

これより議案第2号を採決いたします。本案に対する委員長報告は原案可決であります。委員長報告のとおり決することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長（秋山哲朗君） 御異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり可決されました。

以上をもちまして、本臨時会に付議されました事件は全て終了いたしました。

これにて、平成25年第1回美祢市議会臨時会を閉会いたします。大変お疲れでございました。

なお、会派代表者の皆さんは3時10分より会派代表者会議を委員会室で開催いたしますので、お集まりのほどお願いいたします。

午後3時00分閉会

上会議の顛末を記載し、相違ないことを証するためここに署名する。

平成25年1月17日

美祢市議会議長

秋山哲嗣

会議録署名議員

西岡晃

”

荒川光広